

# 令和6年度事業計画

## I はじめに

令和元年度後半から始まったコロナ禍は、ようやく令和5年5月に「5類感染症」となり、政府の各規制の緩和措置等が行われ、日常生活もコロナ前に近づいています。

このような中、当センターの令和5年度の事業実績及び会員数は、少しずつ好転はしていますが、コロナ禍前の令和元年度の実績までには、至っておらず、依然として厳しい状況は続いています。

さらに、令和5年10月にはインボイス制度が実施され、当面、軽減措置がありますが、先行きは不透明で運営の不安は払拭しきれていない状況です。

しかしながら、当センターとしては、引き続きセンターの目的である公益目的事業の推進を通じて、活力ある地域社会づくりに寄与すべく、会員及び役職員一丸となって、活力あるセンターを目指し、地道な活動を継続して取り組んでいくことが、なによりも大切であると考えております。

引き続き、会員の入会促進を最重要課題と位置づけ、センターの魅力や働くことの社会的価値を広く発信し、一人でも多くの入会者を獲得できるよう、可能な限り、「一人一声運動」はもとより、様々な普及啓発活動を推進し、会員の入会促進を図るとともに、事業実績の増収に努め、就業中はもとより、日常の健康管理、事故防止の徹底にも重点を置きながら事業に取り組み、地域に根差した魅力あるセンターを目指してまいります。

## II 計画の視点

- 1 会員組織の整備・拡大・充実・活性化
- 2 就業機会の開拓・創出・確保・充実
- 3 安全・適正就業
- 4 効率的な運営と管理体制の強化

## III 令和6年度における事業実施計画

### 1 会員組織の整備・拡大・充実・活性化

ア 「一人一声運動」、会員の口コミによる友人・知人への紹介や入会説明会での会員の実務経験に基づいた情報提供による入会促進に加え、退会者の抑止に向けた対策についても調査・検討に努めます。

イ 正会員及び仮会員の健康状態や就業の意向把握及び情報の提供に努め、会員のニーズと就業機会の調整を行い、就業相談窓口の充実を図ります。

ウ ホームページの有効活用として、関係機関との情報リンク、受注業務や会員の日頃の活動状況などを積極的に掲載し、会員数や受注数の拡大に努めます。

さらに、センター行事に合わせた広報媒体の効果的な活用、拡充に努め、広報活

動の推進を図ります。

また、「シルバーかまくら」や「シルバーセンターニュース」の発行にあたっては、時節を勘案した各種情報発信に努めます。

エ ボランティア活動やフェスティバル等に積極的に参加し、地域貢献を踏まえた魅力ある活動を展開します。

オ 神奈川県シルバー人材センター連合会、藤沢・湘南ブロックの各センター等と情報交換をし、同連合会、ハローワークや商工会議所等業界団体及び鎌倉市等と、引き続き連携を図ってまいります。

カ 市内適所において、シルバー人材センターの周知・啓発活動チラシを配布し、会員の入会促進を図ります。

キ 商工会議所と連携し、会議所登録事業者等へセンター啓発周知チラシを折り込み配布することにより、入会の促進を図ります。

ク ホームページや入会説明会の内容を、適宜、追加、修正し、広報活動の拡充に努めます。

ケ 植木剪定などの実地講習会の開催に積極的に取り組み、就業の魅力を発信するとともに、就業への不安を解消することにより、入会の促進を図ります。

コ 鎌倉市の就労支援担当部局が実施する就職説明会等へ参加し、入会の促進に努めます。

サ 令和4年度から月2回に増やした入会説明会を引き続き実施し、入会の促進に努めます。

## 2 就業機会の開拓・創出・確保・充実

ア 就業機会の確保は、鎌倉市をはじめとする関係諸機関や企業、団体及び一般家庭等から情報を収集し、会員への就業機会の提供を行うとともに、新たな事業開拓について調査、研究をしていきます。

イ 請負・委任就業にはなじまない、指揮命令を受ける職種については、神奈川県シルバー人材センター連合会が行う「労働者派遣事業」としての就業を進めていくことにより、偽装請負の防止を図ります。

ウ 公共事業に係る就業機会の拡大を図るため、鎌倉市はもとより、神奈川県シルバー人材センター連合会とも情報交換等の連携を図り、国、県等からの受注の確保に繋がられるよう努めます。

エ 「会員の質の高い丁寧な仕事」が身近に評価され、就業機会の充実・拡大に寄与するよう、知識や技能の修得・向上のための講習会の実施、トラブル防止対策、発注者に対するマナーアップの研修等を実施していきます。

また、派遣会員については、引き続き、神奈川県シルバー人材センター連合会と連携しながら、就業品質の向上や就業上の安全管理についての研修等を実施していきます。

オ 市内適所において、シルバー人材センターの周知・啓発活動チラシを配布し、就業機会の開拓、創出を図ります。

カ 商工会議所と連携し、会議所登録事業者等へセンター啓発周知チラシを折り込み配布することにより、就業機会の開拓、創出を図ります。

## 3 安全・適正就業

ア 「安全・安心なシルバー事業」はシルバー事業の基幹をなすものであることか

ら、事故「ゼロ」を最大目標に、「安全・適正就業強化月間」を設けるとともに、適宜、安全パトロールや講習会を実施します。

また、「安全ニュース」を発行し、事故状況や安全対策等の情報を提供することで、会員の安全意識の高揚に努めます。

イ 安全就業基準及び職務班「安全就業基準」の周知・徹底を図り、安全な就業環境づくりのため、安全就業の啓発を組織的に実施して事故の防止に取り組みます。

ウ 神奈川県シルバー人材センター連合会が実施している「安全就業標語」「ヒヤリハット」への応募数増加に努め、標語が会員の安全就業意識の向上に繋がるよう啓発促進します。

エ 安全就業や健康管理に係る講習会を開催し、安全就業、健康管理の意識醸成に努めます。

オ センターでの働き方について、会員の正しい理解と発注者にも同様の理解、協力を求めて安全・適正就業の徹底に努めます。また、就業形態の適正化を図るため、各種契約に際しては、使用する文言に留意するとともに、発注者並びに就業会員に十分な説明を行います。

カ 新型コロナウイルス、インフルエンザ等に対する感染予防行動や日頃の健康管理を事務局職員及び会員一人ひとりが徹底することにより、業務継続が図れるよう努めます。

#### 4 効率的な運営と管理体制の強化

ア 神奈川県下の最低賃金や消費税額の改定等、社会経済状況の動向を注視し、神奈川県シルバー人材センター連合会や近隣各センターの対応状況も踏まえ、適宜価格の見直しを行い、適正価格の維持に努めます。

イ 令和5年10月からインボイス制度が実施されたことにより、センターの財政負担が増加することから、安定的な財政運営が図れるよう、請負価格を改定するなど、運営財源の確保に努めます。

ウ 補助金の確保をはじめ、事業の推進や管理に係る諸費用等、支出の節減に努め、自主的な運営確保に留意しながら事務処理の効率化と適正化を推進し、財政基盤の安定を図ります。

エ 各種行事への積極的な参加、市民の方々も対象とした教養講座の開催等を通じて、地域に親しまれるセンターとしての発展に努めます。

オ 地域社会と共生するセンターを目指し、センターの存在を広く地域の方々に知っていただくため、10月のシルバー普及啓発促進月間などには、社会奉仕活動及び鎌倉駅地下道「ギャラリー50」へのパネル等の展示や広報かまくらへの広告掲載を実施します。

カ 同好会活動においては、会員相互の活発な交流を図り、連帯感の促進に努めます。

キ 事務局職員の資質向上や情報処理システムを有効活用した事務の効率化等を図り、時代に即した組織体制づくりに努めます。

ク 個人情報については、収集、使用、保管等の取扱いについて、個人の権利利益が適切に保護されるよう、組織として浸透する手段を講じます。

ケ 令和6年度中に施行が予定されている、いわゆる「フリーランス法」により、センターにおける就業契約方法の見直しが必要となることから、国・県の関係機関や各市町センターなどの情報を収集し、新たな契約方法について検討をしてまいります。

コ 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染拡大など非常時における業務継続方法、体制の在り方など、危機管理体制について研究してまいります。

サ センター事務所が、地域に密着した拠点となり、センター事業の拡大と効率的かつ確実な組織運営が図れるよう努めます。